

2019年3月15日

各 位

第一工業製薬株式会社

「DBJ 健康経営（ヘルスマネジメント）格付」2年連続で最高ランクを取得

第一工業製薬（本社：京都市南区、会長兼社長：坂本隆司）は、株式会社日本政策投資銀行の「DBJ 健康経営（ヘルスマネジメント）格付」（以下、「DBJ 健康格付」）において2年連続で最高ランクを取得しました。

「DBJ 健康格付」融資は、DBJ 独自の評価システムにより、従業員への健康配慮の取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

今回の格付では、特に次の取り組みが高く評価されました。

- (1) 健診・二次検診受診率、ストレスチェック実施率の100%達成を継続することに加え、勤労管理システムの機能拡充を図り正確な勤務時間把握に努めるなど、職員の健康管理を行う基盤整備を強化している点。
- (2) 生活習慣病やメンタルヘルスに関する e ラーニングを実施するとともに、挑戦カードによる個人の健康目標を社内報で発信するなど、職員の健康リテラシー向上および健康経営の社内浸透に努めている点。
- (3) 代表取締役会長兼社長を筆頭に社員活躍推進委員会を組織し、職員アンケートによる社内の意見を吸い上げながら、多様な働き方を推進することで職員の満足度向上および組織の活性化に繋げている点。

『第一工業製薬は、従業員を会社の財産と考え、従業員の健康の維持向上に努めます。』の健康宣言のもと、全社をあげて健康経営に取り組んでいます。

以上

・本件についてのお問い合わせ  
第一工業製薬株式会社 広報 IR 室  
TEL. 075-323-5951